

IAEA協力による海域モニタリングの信頼性・透明性の確保

- 福島県沖を中心とする海洋モニタリングデータの国際的な信頼性・透明性の向上のため、国際原子力機関（IAEA）との協力により試験所間比較分析（ILC：Inter-Laboratory Comparison）を実施している。
- 2014年より東京電力福島第一原子力発電所事故に関する周辺海域のモニタリングに関して、プロジェクトプロポーザルに基づき、IAEA環境研究所と日本政府（及び関係機関）が協同してILCを中心とした取組を行っている。
- ILCでは、IAEAと日本双方が同地点のサンプルを共同採取し、個別に分析を実施して、その結果をクロスチェックしており、IAEAは、日本の機関の分析データが高い品質を有しており、信頼性のある比較可能な結果を報告していると評価している。

海水試料採取



海底土試料採取・前処理

